

サイン整備の基本方針

1) サイン計画の目的

一般的にサインとは、"目印""符号""合図"など、人々が行動するために必要な様々な情報を分かりやすく伝え、人々が瞬時に理解できる「情報源」のことです。また、サインによって地域住民や来訪者が円滑に行動でき、街の魅力を演出し、良好な景観を形成するものです。

2) サインの基本方針

サイン利用者が目的地へ円滑に到達するためには、人の行動に合わせてサインを体系的に設置することが必要です。そのため、基礎調査において整理された問題点及び課題、計画条件を踏まえて、基本方針を定め、サインシステム化を図ることが求められます。

- 必要な情報を効果的に提供
- 様々な利用者に対応した情報提供
- 体系化した情報
- 景観形成するサインデザイン
- 適切な維持管理

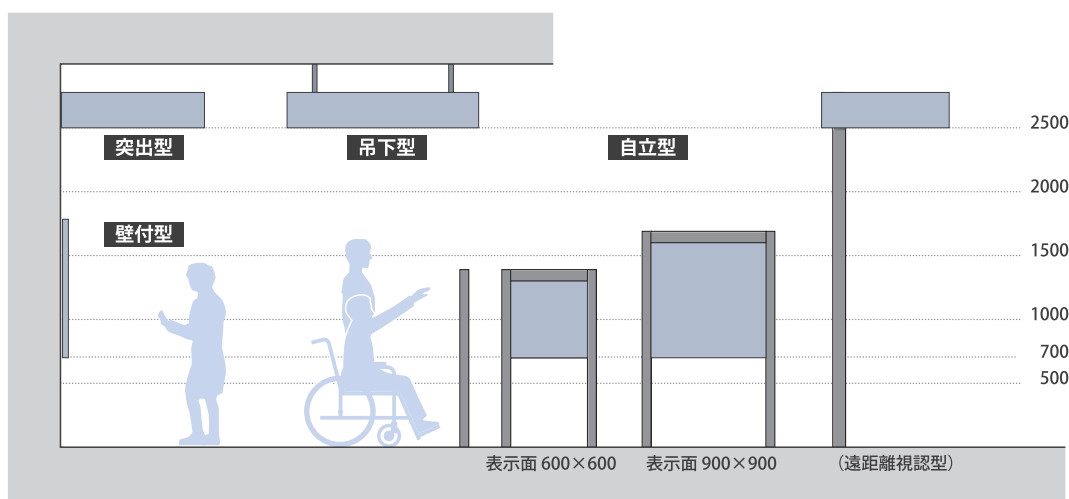


3) ユニバーサルデザインの考え方

公共サイン利用者には、高齢者や障がい者のほか、年齢、性別、国籍、人種など、コミュニケーションに制約のある人々もみえます。すべての利用者にとって使いやすいモノづくりを目指すものがユニバーサルデザインです。

4) サインの形状と機能の考え方

サインは人々の通行の障害にならないことを前提に、顕在性の確保とすべての利用者に見やすく利用されやすい構造でなければなりません。そのためサインの機能性はサイン本体におけるデザイン、意匠性に十分な影響を与えます。



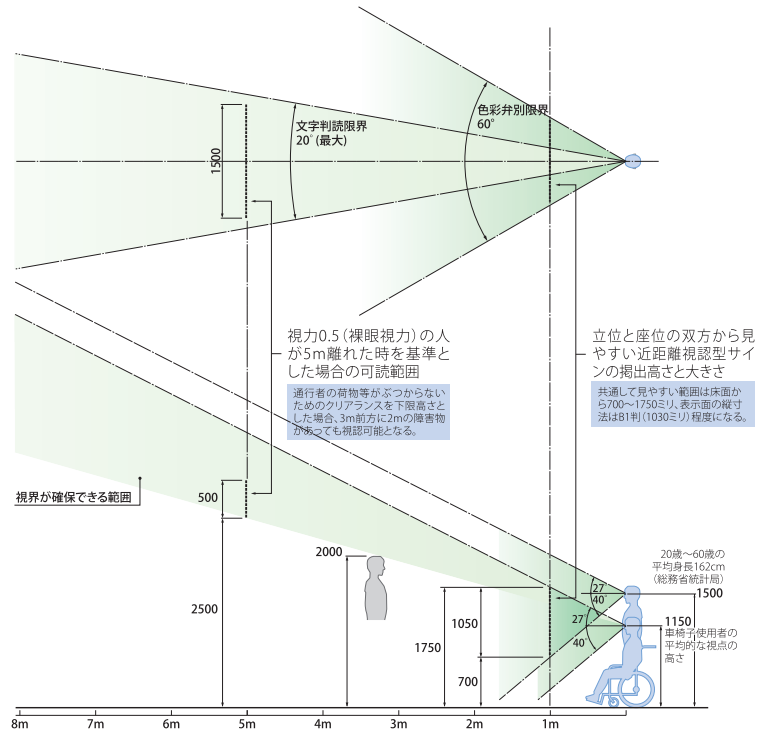
5) サイン表示内容

すべての利用者にとって分かりやすく、理解しやすい情報提供や複雑な情報排除といった内容への配慮、設置高や設置方向等の位置、見やすい表示デザインへの配慮が必要です。

ユニバーサルデザインの7原則

- | | |
|-------------------|----------|
| 1. 公平な実用性 | ● わかりやすさ |
| 2. 柔軟性に富む | ● 幅広い対応 |
| 3. シンプルで直感的に利用できる | ● 安全性 |
| 4. わかりやすい情報伝達 | ● 親しみやすさ |
| 5. 間違いの許容 | ● 美しさ |
| 6. 負担は最小限に | |
| 7. 利用しやすい大きさや空間 | |

サイン計画への視点



■書体

角ゴシック系	新ゴ	キクテック	きくてっく	KICTEC
	中ゴシック BBB	キクテック	きくてっく	KICTEC
	見出ゴ MB31	キクテック	きくてっく	KICTEC
丸ゴシック系	じゅん	キクテック	きくてっく	KICTEC
	新丸ゴ	キクテック	きくてっく	KICTEC
	平成丸ゴ	キクテック	きくてっく	KICTEC
明朝系	リュウミン	キクテック	きくてっく	KICTEC
	MS P 明朝	キクテック	きくてっく	KICTEC
	小塚明朝	キクテック	きくてっく	KICTEC

■ピクト 公共・一般施設 Public Facilities

